

町が進める庁舎建設について議会の見地から検討し提言するために
令和4年6月に新庁舎建設検討特別委員会を設置し、議員間討議を重ねて来ました。
議会として2年間の動きを改めてお知らせします。

議会の動き

新庁舎建設検討特別委員会を設置

10月8日 仲町・橋本若手会との未来トークを開催し意見を聞く

五十嵐議員より一般質問での答弁に関連し、委員会の開催申し入れ
特別委員会（12月9日）
「厚生病院跡地は候補地から除外せよ」と申し入れるかの討議

「疑念を抱かれない建設を求める」要請書を提出（12月28日）

臨時議会において緊急質問。坂下厚生病院跡地の売却状況などについて質す（1月26日）
議長ほか特別委員会3役で「厚生連とのやり取り」を町長などから聴取（2月10日）

特別委員会（2月17日）

厚生連とのやり取りについて聴取内容を報告し、再度厚生病院跡地を候補地から除外すべきと申し入れるか討議

特別委員会（3月28日）

5月の臨時会にどう対応するか討議

特別委員会（4月12日） 町長から臨時会に提出する議案について説明を受ける

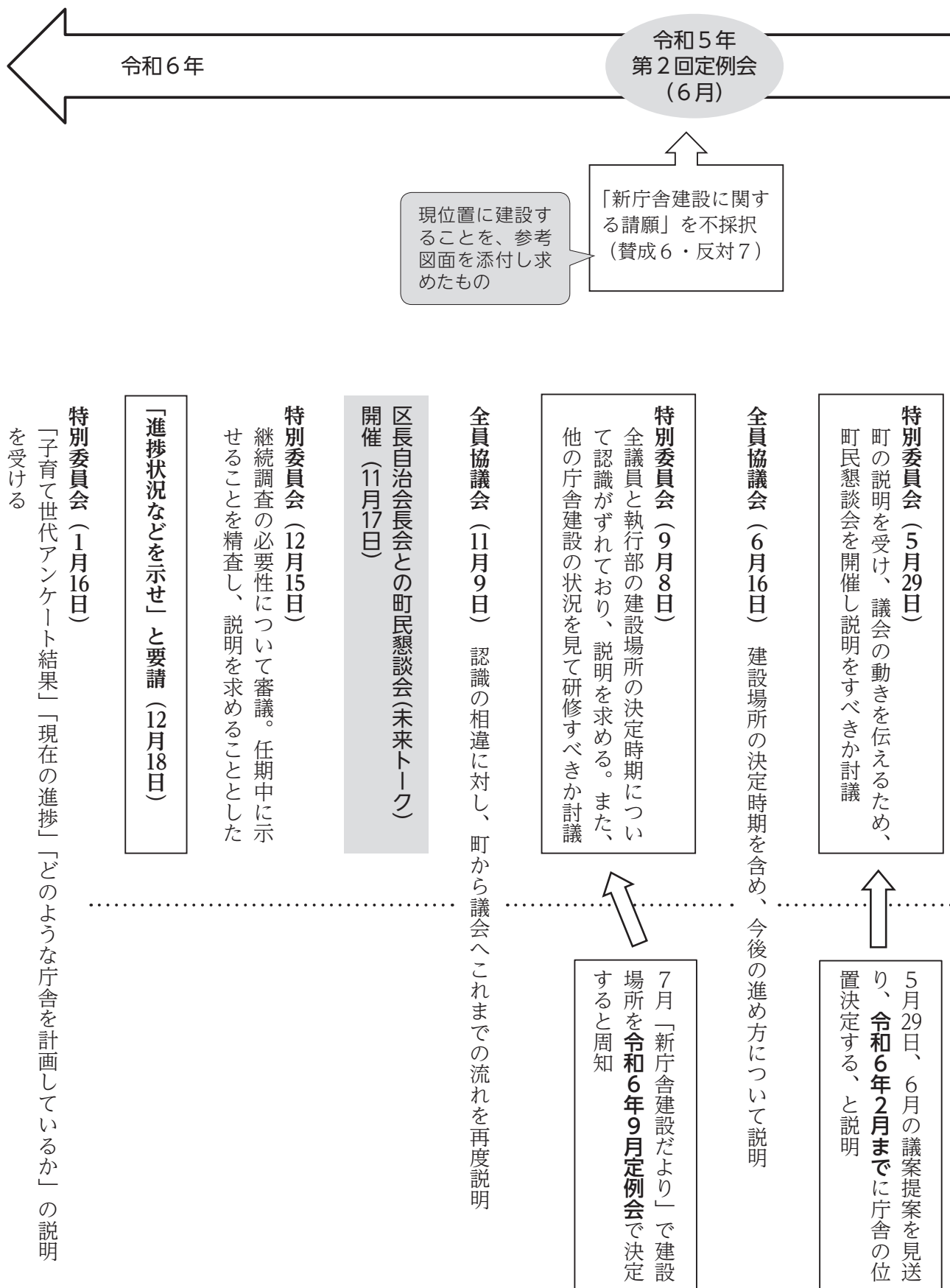
町の動き

第3回定例会中（9月14日）
令和4年中に新庁舎建設場所を表明すると説明

全員協議会（11月25日）
庁舎建設位置についての表明を令和4年度内に延期する

全員協議会（2月22日）
厚生病院跡地にすると表明
5月の臨時会に議案を提出すると説明

役場新庁舎建設





坂下中バドミントン部は、現在男子 14 名、女子 19 名、計 33 名で活動しています。

大半の生徒は中学生になって始めましたが、小学生の頃から坂下バンビィで練習してきた生徒が中心となり、切磋琢磨して練習に励んでいます。はじめのうちは技術に差がありますが、教え合いを通して 2 年生の頃になると、団体戦で同じ舞台に立てるまでになります。

おかげで昨年 10 月に行われた全会津新人バドミントン大会では、男子団体が優勝、個人戦では男子部長の湯田くんが県大会ベスト 8、東北大会出場を果たすことができました。

こうした活躍の背景には、バンビィのコーチ



導入に向け検討が進んでいる中学校の部活動地域移行。変わりつつある中学校の部活動について紹介しています。

今回は坂下中学校バドミントン部顧問の鈴木先生にお話を伺いました。



のみなさん、外部コーチ、大会といえいつも会場まで送り迎えをしてくれる保護者のみなさんのご指導ご支援があったからこそと感じています。部活動の時間に来ていただき、生徒への技術面のアドバイスだけでなく気持ちを高める言葉かけをいただいています。

生徒達には、バドミントンをやりたい、もっと強くなりたいという思いがあります。部活動が地域移行になる中でも、バドミントンを通して全身全霊で何かに打ち込むといった経験を積ませ、生徒一人一人が成長できるよう、向き合っていきたいと思っています。

これからも学校と
地域が協力しながら
坂下中
バドミントン部を
盛り上げていきます！



バドミントン部顧問
鈴木 佳子 先生

編集後記

本当に雪の少なかった今年の冬が終わり、春の暖かい日差しの中で、すべての植物が芽をつむいでいます。小さい背中に新しいランドセルを背負い、目をキラキラと輝かせる、新 1 年生の姿も見受けられます。

広報広聴特別委員会のメンバーも一新され、読みやすい紙面、手に取っていただける紙面づくりを心がける所存であります。

今年度は第六次振興計画後期基本計画を作成する年でもあります。

「人口が減少しても活力があり、町民一人ひとりが生きがいを持てる町」そんな町に少しでも近づけるよう、町議会は新体制の下、町民の皆様と共に努力していきます。

(山口 享)

広報広聴特別委員会

委員長	山口 享
副委員長	目黒 克博
委員	五十嵐孝子
委員	物江 政博
委員	佐藤 宗太